

令和5年度「知事と市町長の円卓対話」（朝日町）概要

- 1 対話市町名 朝日町（朝日町長 やの すみお 矢野 純男）
- 2 対話日時 令和5年8月31日（木）13時30分～14時30分
- 3 対話場所 朝日町保健福祉センター（三重郡朝日町大字小向891番地5）
- 4 視察場所 ①ふれあいパーク（朝日交番を含む）
（三重郡朝日町大字柿2340番地36）
②あさひ園（三重郡朝日町大字小向2068番地1）
- 5 対話項目
 - （1）新庁舎建設に向けた支援について
 - （2）幼児教育・保育の費用負担の増大に対する見直し、改善について
 - （3）教育支援体制の強化について

6 対話概要

対話項目（1）新庁舎建設に向けた支援について

（町長）

一つ目のテーマですが、新庁舎建設に向けた支援についてです。

現庁舎が最初にできたのが昭和39年。今から59年前、60年前です。非常に古い建物で、県内でも一番古い役場庁舎です。県庁は今度建て替えを始めると聞いてますけど、県庁とほぼ同じ生まれ年と聞いております。こういった形で、老朽化もかなり進んでいます。

老朽化だけではなく、直近の津波とか高潮、特に平成23年度に、津波の浸水想定区域が発表されて、役場エリアも入り、令和2年に発表された高潮浸水想定区域にも入ります。今、私どもが仕事をさせていただいております庁舎が危険エリアに入るといことです。

老朽化が進むと同時に、待合の場所が窓口で座っている方と待っていただく方のスペースがほとんどないぐらい狭いということもあります。

それから、津波の浸水エリアですが、役場の位置が、30～40cm浸水可能性ありということになっています。その後、直近のハザードマップが発表されまして、高潮浸水ということで、過去の最大級の台風や大雨が重なったときに、どうなるかという予測を県の方から出されました。これで見ると、危ないエリアにすっぽり入ってしまう位置付けになっています。

基本理念として昨年1年間かけまして、どんな庁舎を作るべきなのかということ議論し、基本構想としてまとめました。町民の安心安全、将来を見据えた行政サ

ービスの提供、それから町民の皆様が親しみやすく、行って楽しい、そういった形の庁舎を作りたいという目標を定めています。

最初、6ヶ所ほど町内に候補地がございました。これを基本構想検討委員会の中で比較をしまして、いま現在、基本構想のまとめ段階では2ヶ所にまとめました。一つは、町の体育館の周辺エリア。もう一つの候補地が町民スポーツ施設エリア。今2ヶ所の中で、今年度基本計画で、少なくとも場所までは決めさせていただきたいと考えて進めているところです。

整備費用としては、床面積、4900㎡、建設単価が、昨年の段階で54万ということで設定しまして、その他、購入費入れて、約27億円というふうに見込んでいますが、もっと高くなっている可能性があるのも事実認めざるを得ないという状況です。

県の方をお願いをしたいポイントは、まずは建築や開発行為に係る許可です。建設物を造るとなると法律上の規制がいくつかあります。高さ規制等も引っ掛かる可能性もあります。計画プランを県にご説明した時に、「よっしゃわかった。こういうふうな準備しとけ」というような助言を是非いただけるようなことをお願いしたい。

それからもう一つは、以前ほど大企業さんからの法人税、いわゆる税金が入らず、大幅に減っております。町の貯金が大分厳しくなっております。そういった中で、今回移転をするとなれば、緊急防災減災事業債といいまして、国の方からですね、建設費用の一部を負担していただけるというプランがあります。

この2点をですね、我々も一生懸命追求しながら今年基本計画を作っていきたいということです。

まずは、どこに作るかという場所を特定させていただき、財政事情もございまして、議会、あるいは町民の皆さんとも、きちっと相談して、説明させていただきたいと思っております。

(知事)

私も以前に朝日町さんの庁舎を見させていただきました。大分手狭になっていまして、大分古くなっていますよね。県庁の庁舎と、先ほど矢野町長もおっしゃいましたが、同じ年にできています。そろそろもう建て替えないと、住民の方も増えておられるんで、対応できないのだろうというふうに思います。

去年、私が知事になって1年経って、県庁も非常に働きにくいというか、狭くなってきています。これでは、県民への対応ができないと思ひまして、一応その時から建て替えの積み立てを実は始めています。朝日町さんみたいに計画を作るところまではいってないですが、とにかく働きやすい職場を作るということで、取り組んでいます。

朝日町さんはそれより先に進んでおられて、庁舎を作ろうということもやってお

られ、非常にうらやましいと思いますし、県としてもご支援をさせていただきたいと思います。それがひいては町のためでもあり、県民のためにもなります。

私ども県庁には技術屋の人間もおります、技官もおりますので、技術的な助言は、県でお力添えができる場所とっております。町にしても市にしても人員カットで、技術系の人間がどんどん減っています。私も国土交通省におりましたから、技術系の人間が多い職場でありましたが、国が県を助けなければならないところもありますし、県としても、市や町をお助けするというのが使命の一つではないかなとっておりますので、実際の事業もやらせていただきたいと思います。どういう建物が国から認められやすいのかという辺りも、ご支援できると思っておりますし、どこに建てるかは都市計画の許可が必要になってくるものもございまして。どういふふうにすればスムーズに庁舎が建つかは、お話を申し上げたいと思っております。

現に朝日町さんから、何度も相談を頂戴してまして、私どもが、真面目に真摯に対応させていただいて、「このようなことが必要になってくるかもしれません」「その時に備えてこのようなご準備をしていただいたらいいんじゃないでしょうか」と申し上げているところです。

それと心配なのは、お金です。今の庁舎が津波の被災区域にあるということですから、緊急防災減災事業債が使えます。そうするとかなりの部分を、国のお金で賄うことができますので、町民の皆さんのご負担が少なくなります。これは、令和7年度までの措置ですから、延長を働きかけなければならないということで、毎春と毎秋に、国へ要望に行っていて、この間も、担当大臣に延長をお願いしてきたところです。これからも働きかけていきたいと思っておりますし、朝日町では、ある程度方向性が出ておられるので、早めに話を国に持っていくことも必要かなと思っております。国の役人してました私の経験から言うと、「もっと早う言ってくれたらいいのに」なんていうのは結構あります。地方の方は、「準備してから言おう」というのはありますが、準備する前から言ってくれたら、何かできたのにといいのは、結構ありました。厚かましく言っていくことが大事かなと思ったりもしますので、今後町長と相談して、一緒になってやらせていただきたいと思いますと思っております。

対話項目（2）幼児教育・保育の費用負担の増大に対する見直し、改善について

（町長）

二つ目は、先ほどあさひ園を見学していただいたところですが、幼児教育保育の費用負担の増大に対する見直し、改善についてです。

朝日町では、幼稚園と保育園を同一施設で幼保一体教育としてやっており、多いときは、500何十人という時代もあったそうでございますけれど、現在420名ほどが在籍しています。

そうした中で、時代を反映して、保育園の方の人数がかなり増えてきて、幼稚園の方はむしろ若干減少気味です。今日も夏休み中ですが、保育園の方はやっておりますので、子どもたちがたくさん来ていただいている、ちょうどお昼寝の時間を知事に見ていただいたきました。

こういった中で、またお金の話になって非常に心苦しいですが、私が町長にならせていただいた令和元年から幼保の政策の一環として、幼稚園保育園費用の無償化ということ为国が打ち出しました。1年目は国が全額ご負担をいただいたのですが、2年目から町の方で負担をしています。

国が無償化すると言ったことに対して費用は町で持っているということで、令和2年の数字を見ていただくと8,960万円、直近で令和5年の見込みも8,916万ということで、毎年9,000万円ぐらいお金がかかっています。従来は町の費用で出してなかった部分が、財政的なバックアップが直接あるわけではない中で支出が続いており、ここ5年間で4億円ほど使っています。これがずっと続くと朝日町の場合は子どもさんの数が減る方向というよりは、むしろ、増えるまでいかなくても横ばいで推移しますので、お金の負担が非常に町の財政の中で厳しくなっています。

今回のお願いは、ここ数年、町村会から県や国への要望でも毎年ずっと出しておられますけれど、幼児教育保育の費用については、きちっと交付金措置という形で名目を明らかにして、国から支出していただけるように、県の方からも強く後押しをしていただきたいと思っています。

(知事)

あさひ園を見させていただいて、子どもの健やかな育ちに関して、矢野町長をはじめ朝日町の皆さんが本当に一生懸命やっておられるなというのを目の当たりにしました。

国も県も、子育て、子どもの施策は、1丁目1番地で、おそらくこれからも変わることはないと思います。県では、令和5年度の予算で、みえ子どもまるごと支援パッケージとして、三重県の子どもが健やかに育つようにという予算を確保しました。令和5年度で約100億円の予算になっており、令和4年度に比べると22%の増額というので一番伸び率が高い予算です。国も、こども家庭庁が出来まして、今年度、こども未来戦略方針というのを作りましたし、今後、こども大綱も作りまして、予算も確保していくということは言っておられます。今日、令和6年度予算の要求が、こども家庭庁から財務省へ出て行き、明らかになりますけれども、多分かなりの高額になってると思います。

そんな中で、各自治体から国に対して要望してるところで大きいのは、0歳から2歳の保育の無償化と幼稚園の費用の補助です。令和5年7月に山梨で全国知事会

が開かれ、そこで我々も要望させていただきましたが、各県からの要望が多かったのは、やっぱり子どもの予算です。そこは国の方で、面倒見て欲しいということを行いました。そうすると我々に税金ではね返ってくることにはなりますが、それでもやっぱりこれからの日本のことを考えたら、お金を使わないといけないと思っています。

合計特殊出生率という言葉があります。どのぐらいの子どもが生まれてくるかっていうことなんですけれども、日本全体では、かなり低いです。2.1ぐらいないと今の人口は維持できないです。結婚したいと思われる人が結婚され、子どもを持ちたい人が、皆さん子どもを持てれば、大体1.8という数字になるのですが、1.8でも実は人口維持は出来ないのです。ところが、日本全体でも1.28とかなり低いです。目標は国も三重県も1.8なのですが、到底、達成できないぐらいの幅があります。三重県の場合は、国全体よりちょっと高いですが、1.40という数字です。

ちょっとでも上げていくために何をしなければならないか。フランス、フィンランド、スウェーデン、ドイツでは、女性が担当大臣になられて、子ども施策を打たれました。公費で教育費も含めて、多くを賄うことをやられた結果、特殊出生率が上がってきています。先進国でも下がるばかりではないということで、例えば出会いのサポート、子どもにかかる費用を社会全体で見なければ、子どもは増えてくる。

1人しかなかなか育てられない家庭でも、2人3人子どもを持とうというようになってくると思いますので、子どもを持つことに夢がある施策を打っていかねばならないと思います。

幼児教育と保育の費用負担はやっぱり一番大事なところで、医療費の関係とか先の話もありますけど、まずは小さな子どもを預けて働くことができるように、私ども朝日町さんと一緒になりまして、国に要望させていただきたいと思っています。

(町長)

ありがとうございました。

色々と既に国の方にもアクションをしていただいている部分もあるということもお聞きしました。

我々も、このような形で毎度、毎度、機会がある度にお問い合わせを繰り返して、やはり、先ほど知事の方からもありましたように、国に要望を直接するということも含めて、取り組んで参りたいと考えております。

対話項目（3）教育支援体制の強化について

(町長)

三つ目のテーマ、教育支援体制の強化についてお話をさせていただきます。

現在、私どもの町は小学校1校、中学校1校という非常にまとまった学校運営ができていますが、小学校の生徒は、現状は700人ぐらいに減りましたが、一時は900人、1000人というレベルで三重県でも一番マンモス校であった時期もありました。中学校は約500人の生徒がいます。

学校の問題はいろいろありますが、朝日小学校、中学校ともにですね、先生方のご努力、あるいはPTAのご協力、あるいはその他関係者の応援が相交じりまして、大きなトラブルはないと認識をしております。

しかしながら、社会が非常に複雑化していく中で、特別な支援を必要とするお子様の数が増えてきています。朝日小学校、朝日中学校を運営するにあたり、トラブルを未然に防止し、確実にサポートできるように、会計年度任用職員を独自に採用して、学力の向上、あるいは特別支援を必要とする児童・生徒さんのサポートをしております。

特に学力向上という意味では、基礎学力充実講師として、小学校で5名、中学校で6名、配置しております。学力テストで、朝日小学校、中学校とも三重県の中でも、トップクラスの成績になっております。これは各方面の協力があるわけですが、このような組織的な応援もしております。

もう一つは、特別支援を必要とする子どもたちで、社会の複雑化とともに、悩みを抱える子どもたちが増えております。こうした中で、特別支援学級の介助員として、小学校9名、中学校4名、それから特別支援教育支援員8名。フリースクールまで入れて全部で34名。これ以外にも、10名程度お仕事をさせていただく人を町の単費で入れて、44名の会計年度任用職員を町独自で採用し、配置しています。その結果、学校運営が円滑化し、成績も順調であるということに少しは寄与していると思っております。

令和元年度の予算は5700万、5800万ぐらいで、町の単費で出してましたが、本年度、9700万で令和元年度から約4000万円、毎年1000万ずつぐらい増えています。これは教育部門と徹底的な議論をして、必要最小限のものしか認めない中でやったにもかかわらず、増やさざるを得なかったというところです。こうした中で、財政調整基金が非常に少なくなってきました。

すぐに、県なり国で面倒見てくださいと言っても、すぐには出てこないことはもう重々承知しているわけですが、こうした実態もあるということで、知事にもご認識いただいて善処をお願いしたいと思っております。

(知事)

三重県の中でも、朝日町さん本当に進んでいると思います。

やはり時代が変わっていきますと、特別支援が必要な子どもというのは、数が増

えてきてると言われます。だんだん増えてきたのかもしれませんが、我々の時はあんまりそういうことを言われなかったのかもしれない。ただ、確実に小さい頃から、そういう子どもにケアをしていくと、その子の育ちが違うということがあり、だから、手をかけて育ててあげるといのが大事なところ。三重県でも、そのような施策はやっていますが、まだまだ基礎自治体にお願いしなければならないところもあります。

予算に限りがあり、人的な部分もなかなか難しいところがある中で、朝日町さんは本当に進んでいると思います。町民の皆さんのご理解をいただいているので、ここが進んでいると思います。

基礎学力充実講師を町の方で会計年度職員として11人雇っていただいて、県も1人、11人の外ですが、非常勤講師を配置させていただいています。県の方は、その土台となります少人数学級と言われますが、我々の時は1クラス40人ぐらいいましたが、今、35人で運用しています。国の基準では、小学校4年生まで35人。1年生から少なくしていき、だんだん6年生に向かってやっていますが、今4年生までということを言われています。三重県はちょっと一歩先に進んでいまして、小学校5年生までを35人学級にしています。それから中学一年生も35人学級というのを県内で実現をさせていただいています。ここにコストがかかっており、直ちに基礎学力充実の講師を私どもで肩代わりをする、あるいは支援するのはやりたい気持ちはあるんですけど、難しいところがございます。来年度は国が小学校5年生まで35人学級を行います。県は先進で6年生まで行う計画を持っています。その先に、基礎学力を充実するための講師、非常勤講師の配置を考えていきたいと思っています。

それから、特別支援学級の介助員、それから特別支援教育の支援員、朝日町さんで21人の人を置いていただいています。私どもも、県単独、国から支援をもらっていないのですが、非常勤講師を通常の配置基準に加えて、追加で予算を用意して、朝日町さんが小学校で1人、中学校で1人ということで、小学校では5学級を見ていただいて、中学校では3学級を見ていただく形で、配置をしています。国は子どもの施策を充実していくと言っていますので、小学校中学校もそうですが、子どもの施策に対して予算拡充をして欲しいということを行っています。

これは自治体ごとに競争してもしょうがないところがございます。生まれてくる子どもたちは、朝日町の大事な子どもでありますし、三重県にとっても大事な子どもなんですけど、どんどん日本の中心で活躍してもらったらいいいと思いますし、世界に出て行ってもらうもいいと思います。そういう意味では日本国にとっても重要な子どもたちなので、国で支援をして欲しいというのは、知事会でもこれからも言っていきますし、今までも言っていると思うんですね。それはやらせていただきたいというふうに思っています。一緒になって要望していくことかなと思っています。

ます。

医療的ケア児について、これ実は私、厚労省の審議会の委員にもなっていて、審議会で発言させていただいています。三重県の中にも、医療的ケア児がおられます。親御さんは、普通の子どもさんと一緒に、教育を受けさせたいというその気持ちは、私も人の親ですから良くわかります。朝日町も1人看護師さんを配置していただいていますので、国へ補助制度の拡充も要望していきたくと思っています。

それから校内フリースクール、これは不登校の子どもたちに関して、朝日町さんでは県内でも率先して校内教育支援センターを作っていると思います。国の方で、このような制度について、国が支援をするということを考えているようでして、来年度予算で、文科省が要求をするということになります。これから予算編成時期に入って12月までの間、財務省と調整をしていくわけですが、予算の確保がおそらくできるのではないかと思います。その時は、我々も共同でご支援をさせていただくことになると思いますので、今後の状況を見ていきたくと思っておりますし、朝日町さんがやっている施策を可能な限りですが、ご支援させていただきたいと思っています。

(町長)

ありがとうございました。心強い内容の言葉をたくさんいただいたわけでございます。

我々もまだ気づいてない部分のご指摘もございましたし、これから県さんと一緒に国への要望をきちっと粘り強くやらせていただきたいと思っております。

本日、遠路来ていただいて、あれしてください、お金くださいみたいな話で、情けない形にはなったんですけど、朝日町の財政状況非常に厳しい中でですね、千載一遇のチャンスということで、知事をお願いをしたわけです。無礼のほど、お許しいただきたいと思えます。

以上でございます。ありがとうございました。